



だっこするよ

令和2年2月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115 - 0053 北区赤羽台 1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

人生は面白い！！ 兄弟姉妹でいっしょにあそぼう

立春も近づき、水仙がそこここに咲いています。一年間地下茎に栄養を貯めて、一番寒い時期に花を咲かせて、春の訪れを知らせてくれる花ですね。春はもうすぐです。

大きな行事を12月に終えて、園は穏やかに一年のまとまりの時期を迎えています。その子がその子らしく大人に甘えて遊び、生活を楽しんで自立の習慣を身に付けています。OECD（経済協力開発機構）が重要に考えている「starting strong 人生の始まりこそ力強く」大人の関りの質が大切とされています。一人一人の持っている力やこだわりを受け止めて、理解し、手塩に掛けて育てていきたいものです。

先日、全国保育協議会の施設長専門講座を受講しました。元東京家政大教授の網野武博氏の保育実践哲学の講義で、日本の子育ての歴史にみるこども観についてお話をされました。

「七つ前は神の子」「七つまでは神の内」数えの7歳で満では5歳までは、神に属するものであり、本格的な躰は5歳からである。こどもの未熟さ非礼もとがめられない、葬儀も5歳からであった。

「遊びをせんとや生まれけむ 戯れせんとや生まれけん

遊ぶこどもの声聞けば 我が身さえこそ動（ゆる）がるれ」梁塵秘抄の一句

こどもの遊ぶ声が聴こえてくると私の心まで一緒に揺り動かされてしまう。こどもが夢中になって遊ぶ姿は、愛おしいと。古来から伝承されている諺や歌には、世界にも類を見ないこどもを尊び、こどもの育ちを信頼する民族のこども観＝子は宝であると受け止められていた。生存率が低かったこともあり、生命や尊厳を守る姿勢が身分に関係なくあったと。その後西洋化して現代になるのですが、その情愛の深さに改めて感動しました。誰もが愛され、そして「人間」として「自分」に育つプロセスを大切にしたいと思いました。

先月、全幼児（3～5歳）で遊ぶ日「いっしょにあそぼうの会」を楽しみました。それぞれが自分の好きな場所で給食まで遊ぶ日、年長さんがみんなの約束を考えてくれました。当日は、無心になって制作に取り組む姿、鋏を年長さんのみの使用にしていたので、鋏で切ってあげていました。そして、一生懸命に積んでいたカプラや積み木、パズルでも「ここだよ」と教えてあげる姿、ひたすらダンスショーで踊っていた3歳さんの横で舞台の裏方をしていた年長さんの姿、なんだかもう胸がいっぱいです。予想以上の年長さん達のリーダーシップ、関り合う姿に素晴らしいなあと感激しました。交じり合って育ち合う兄弟姉妹ですね。また大人達もチームになってこども達全体を見守ってくれました。いろんな出会いが生まれていました。関り遊びは人生の練習ですね。それぞれの思考力、判断力、表現力をフルに使って遊んでいました。今後も続けて行っていきます。制作の箱集めなどご協力に心より感謝申し上げます。

さて、令和元年の出生数は28万人と過去最少でした。思っている以上に少子高齢化へのスピードは加速しています。少なくなる私達の宝をどう育てていくのか、環境問題も深刻です。仏ではソーラーパネル道路が開発されて実用となったとか、これからのこども達には、今までの知識や経験が役に立たず、新しい感性や協同性が必要ですね。互いの思いや考えを共有して、共通の目的を目指していく力、うちの子達は、兄弟姉妹でワイワイと遊ぶ時間からも学んでいくことでしょう。写真は、いっしょに遊ぶ会の制作遊びです。